

2025年2月21日
出光興産株式会社

**「HEFAプロセスを用いた持続可能な航空燃料（SAF）の製造設備設置
および供給体制構築事業」が、
経済産業省のGX経済移行債を活用した投資促進策にて採択**

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「当社」）は、経済産業省のGX経済移行債^{※1}を活用した投資促進策に、徳山事業所（山口県周南市）における「HEFA^{※2}プロセスを用いた持続可能な航空燃料（SAF）の製造設備設置および供給体制構築事業」（以下「本事業」）を提案し、2025年2月20日付で採択されました。本事業の総事業費の一部がGX経済移行債によって充当されます。補助金の主な使途は、徳山事業所におけるSAF製造設備（年産25万kL）の建設となります。

※1 GX経済移行債：

2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを実現するため、新たな市場・需要の創出に効果的につながるよう、日本政府が発行する国債。民間事業に対する20兆円規模の先行投資支援が計画されている。

※2 HEFA（Hydroprocessed Esters and Fatty Acids）：

植物油などを水素化処理して得られる水素化エステル・脂肪酸からSAFを製造する技術・プロセス。SAFの国際規格「ASTM D7566 Annex2」として認証されている。

当社は、徳山事業所において2028年度までにSAFの生産を開始することを目指しており、本事業を通して製造設備の建設と国内供給体制の構築を行います。当社はSAF製造設備の2025年度内の最終投資決定に向け、現在、基本設計を行っています。原料には廃食用油等の廃棄物や、大豆油、将来的にはポンガミア等の油糧植物といったGHG（温室効果ガス）削減率の高い複数の油脂を活用する計画です。事業遂行へのコミットメント、事業戦略、エネルギー供給事業者として原料調達から製造・販売までの一貫したサプライチェーンの実現に向け取り組みを進めていることなどが評価され、このたび採択されました。

当社は、エネルギーとカーボンニュートラルソリューションのメインプレイヤーになるべく、事業構造改革を推進しています。その遂行のための基盤として、化石由来のエネルギーを生産する製油所・事業所をカーボンニュートラル燃料・製品の供給拠点であるCNX（Carbon Neutral Transformation）センターへと進化させていきます。

SAF事業は、当社が2030年に向け優先的に取り組む重点4事業の一つで、年間50万kLの国内供給体制を構築することを目指しています。長期にわたって安定的かつ経済的にSAFを製造・供給するためには、原料の調達方法や製造方法の多様化が重要と考えており、徳山事業所でのSAF製造は不可欠な施策であると位置づけています。

航空業界の脱炭素に貢献するため、政府の支援を受けながら、SAFの早急な社会実装に向け着実に取り組みを進めてまいります。

【参考】

プレスリリース：徳山事業所における HEFA-SAF 製造プロジェクトの FEED 移行について（2024年8月2日）

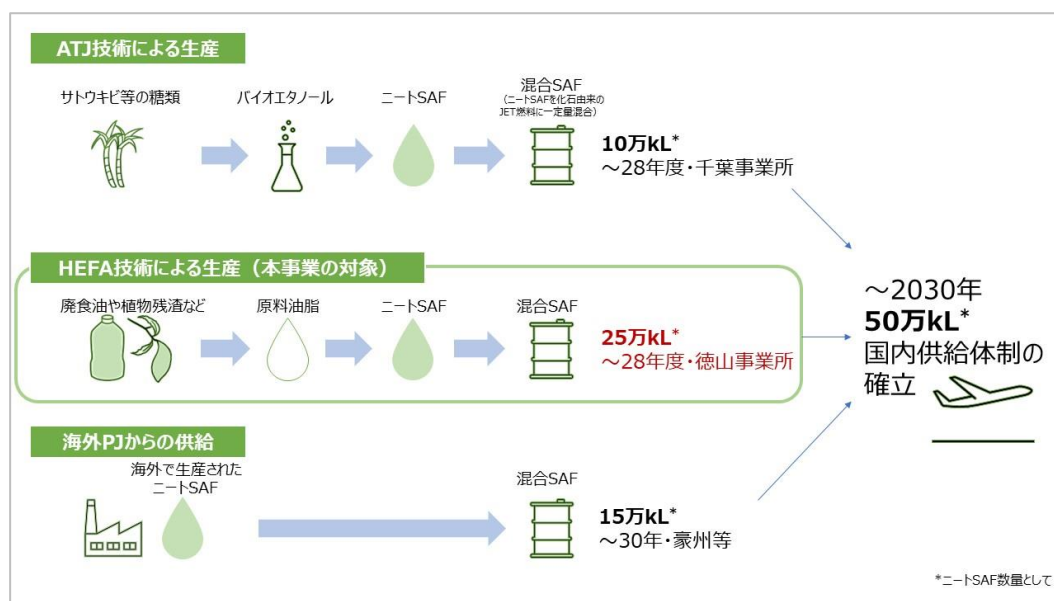
<https://www.idemitsu.com/jp/news/2024/240802.pdf>

Idemitsu が目指す 2050 年とアクション：キーワード「SAF（持続可能な航空燃料）」

<https://www.idemitsu.com/jp/2050future/keyword/saf.html>

1分でわかる「SAFが創る未来の空」

https://www.idemitsu.com/jp/business/oil/lowcarbon/saf_future.html



当社が目指す SAF 供給体制



HEFA-SAF 製造設備の建設予定地である徳山事業所（写真中央）

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html